

戦火よびこむ「安保三文書」破棄せよ、戦争の覚悟でなく、平和の国づくりを

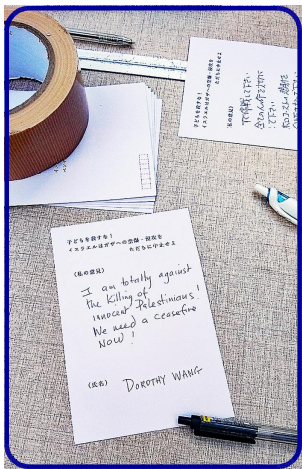
たたかい続けよう

憲法9条であらゆる戦争を止める外交を  
ガザの虐殺やめよ、即戦争中止を



新日本婦人の会兵庫県本部は、11月18日神戸市の婦人会館で会議のあと、婦人会館から元町商店街で「ガザ攻撃やめて直ちに停戦を」を訴えるパレードを60人で行い、通行の人々や商店の皆さんと平和への思いを共有しました。

イスラエル大使館への抗議・要請はがき  
次々と書く人がいっぱい！！



11月19日・日曜日、昼の大丸前は人々でいっぱい。

兵庫憲法共同センターの19日行動では、岡崎史典兵庫労連事務局長、松田隆彦兵庫県委員長がスピーチを担当、イスラエルのガザでの1万人虐殺（うち子ども4割）をすぐ止めるため皆さんも一緒に「抗議はがき」と訴えつづけました。用意した机に外人も含め18人が意見を書き、はがきを持ち帰った人は40人を超えました。

宣伝中、ずっと共感したパレスチナの若い夫婦は英語の横断幕に共感し、もう一度引き返して、ハガキに自分の思いを書き込みました。



2023.11.16

衆院憲法審査会  
赤嶺氏 ガザ危機で政府に要求

衆院憲法審査会が16日、自由討議を行い、日本共産党の赤嶺政賢議員は、深刻な人道危機が起きているイスラエル・ガザ紛争について、日本政府は「日本国憲法の平和主義に基づき外交が強い立場を堅持し、国際社会による停戦に向けた緊急の働きかけが必要」と指摘。米国に「追従し、イスラエルの軍事攻撃の即時中止を正面から求めない日本」と批判し、「イスラエルとパレスチナの問題は、武力で平和は絶対につくれないことを示している。憲法9条を持つ日本が、積極的な役割を果たすべきだ」と主張した。

また、政府が沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設強行のため、玉城デニー知事の権限を奪う「代執行」訴訟を提起したのは「憲法に基づき地方自治を真に向かおうとする懸念」と批判した。

政府は沖縄県の民意を一顧だにせず、行政不服審査法を乱用し、基地建設を強行してきたと指摘。最高裁判決を出したと批判し、「憲法が保障する民主主義も地方自治も無視する」と強く訴えられた。

衆院憲法審査会が16日行った自由討議で、代表は「議員任期延長問題は速やかに結論を出さなければならぬ」と主張した。自民党改憲案の緊急自衛隊の設置については「改憲議論の緊急事態案項は、議員任期延長と内閣による緊急政令・緊急財政処分をセットで盛り込み、国の権限を奪い、政府に権力を集中します」と主張。緊急事態案項の改憲案文書は「憲法を定めるべき」と主張。憲法審査の開催日を増やし、集中討議を行うべきだ」と自民党に迫りました。

国民の玉木雄一郎代表は「自民党の改憲に対する本気度が感じられない」と今度のセッションルや運営では到底、来年9月までに改憲できない」と維新に同調し、改憲議論の加速を求めました。

国民の多数は改憲を政治の優先課題として求めているにもかかわらず、改憲と戦争国家づくりを断る国民による、公明、維新、国民による「悪政4党連合」の危険性は明らかです。

衆院憲法審査の異常

◆◆◆地域や団体の催し◆◆◆  
★★★ 12月3日(日) 13時～  
とめよう！原発依存社会への暴走  
1万人集会

主催：老朽原発うごかすな！実行委員会  
場所：大阪・うつぼ公園  
集会終了後、14:30～デモ  
(連)090-1965-7102